

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4684708号
(P4684708)

(45) 発行日 平成23年5月18日(2011.5.18)

(24) 登録日 平成23年2月18日(2011.2.18)

(51) Int. Cl.

F 1

A O 1 K 63/04 (2006.01)

A O 1 K 63/04

Z

請求項の数 6 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2005-101240 (P2005-101240)	(73) 特許権者	599035627
(22) 出願日	平成17年3月31日(2005.3.31)		学校法人加計学園
(65) 公開番号	特開2006-280211 (P2006-280211A)		岡山県岡山市北区理大町1-1
(43) 公開日	平成18年10月19日(2006.10.19)	(73) 特許権者	000228349
審査請求日	平成20年2月1日(2008.2.1)		日本カーリット株式会社
			東京都千代田区神田和泉町1番地
		(74) 代理人	100075731
			弁理士 大浜 博
		(72) 発明者	大塚 雅広
			岡山県玉野市八浜町大崎957
		(72) 発明者	久保田 一浩
			群馬県渋川市半田2470 日本カーリット株式会社 群馬工場内
		審査官	高橋 三成

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 水産系使用水の処理装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

亜塩素酸ナトリウムを添加する亜塩素酸ナトリウム添加手段と、光を照射する光照射手段とを備え、水産系使用水に所定量の亜塩素酸ナトリウムを添加するとともに、該亜塩素酸ナトリウムを添加した水産系使用水に所定の照度の光を照射することにより、亜塩素酸ナトリウムの活性化を図るようにしたことを特徴とする水産系使用水の処理装置。

【請求項2】

亜塩素酸ナトリウムが添加される水産系使用水が、水産系使用水槽中の使用水であることを特徴とする請求項1記載の水産系使用水の処理装置。

【請求項3】

亜塩素酸ナトリウムが添加される水産系使用水が、水産系使用水槽に供給される前の使用水であることを特徴とする請求項1記載の水産系使用水の処理装置。

【請求項4】

照射する光が、人工光であることを特徴とする請求項1、2又は3記載の水産系使用水の処理装置。

【請求項5】

照射する光が、太陽光であることを特徴とする請求項1、2又は3記載の水産系使用水の処理装置。

【請求項6】

水産系使用水中の亜塩素酸ナトリウム濃度を、0.1mg/l～1000mg/lの範

10

20